

図1 1995(平成7)～2021(令和3)年度末にかけての27年間に於ける4つの主要な配信サービスの利用者数の推移。

利用者数は、2021(令和3) [20(令和2)] 年度の1年間には純減で、93[94]者となりました。利用者数は、同サービス運用開始4年後の2009(平成21)年度には100者前後に達し、その後の11年間は、概ね90～100者で安定しています。(表1・図1)

#### (4) 気象衛星データ配信サービス

2015(平成27)年7月に運用を開始し、利用者数は、当初は20者に止まっていたましたが、その後、徐々に増加し、2021(令和3) [20(令和2)] 年度には3[2]者純増で、37[34]者となりました。この5年間の特徴としては、純増の大半が欧米を中心とした海外の企業となっています。(表1・図)

#### (5) 延べ利用者数の27年間にわたる推移

配信システムについては、電文形式に加えて、ファイル形式、緊急地震速報、さらに気象衛星データ配信システムと順次拡充してきています。

(図2)

1995(平成7)年度の電文形式配信サービスの運用開始後10年程度は、2000(平成12)年度にファイル形式配信サービスが開始されたものの利用者数は数十程度で推移していました。その後、2005(平成17)年度に「ファイル転送プロトコル(FTP)」

の利用を開始した頃から、延べ利用者数は毎年順調に増加してきています。これは主に電文形式及びファイル形式配信サービスの利用者の増加によるもので、過去10年間には毎年約30～50者程度増加しており、**2021(令和3)年度には647者**となりました。なお、同一事業者で複数の配信システムを利用しているものもあり、事業者数の実数としては500者弱となります。

近年の電文形式・ファイル形式データ配信サービスの新規利用者は予報業務許可事業者以外が主体で、2021(令和3)年度末には両配信サービスの9割近くに達しています。新規利用者の事業は、多様な産業分野に及んでおり、各利用者独自の利用に加えて、近年の国等による地球温暖化やエネルギー対策などの新たな政策の推進が牽引役になっている事例も多くなっています。新規利用者等の動向については、昨年度の報告などで紹介していますので参考にして下さい。

#### 【参考】

- ① オンライン配信サービスのセンターHP: <http://www.jmbasc.or.jp/jp/online/online.html>
- ② 2020(令和2)年度末における「情報提供業務(オンライン)」の利用者の動向について  
(センターHP「話題」、2021年4・5月): [http://www.jmbasc.or.jp/jp/topics/2021/2104-05\\_1.pdf](http://www.jmbasc.or.jp/jp/topics/2021/2104-05_1.pdf)

## 2. 気象予報士試験の受験者・合格者数

新型コロナウイルスへの感染対策の下、2021(令和3)年度は、8月と1月に第56、57回の試験を行いました。気象予報士試験につきましては、近年受験の申請者数の減少傾向が続いていましたが、昨年度はコロナ禍ではありましたが申請者と受験者が前年度よりも、それぞれ1,707、1,085名増え、8,946、6,549名となりました。このうち、301名の方が合格しました。感染の不安から受験を差し控える申請者も多くありましたが、気象予報士の活躍を描いたNHKの“(所謂)朝ドラ”の影響もあったのか、受験者自体の数としては、緩やかな増加傾向が見えてきました。

なお、気象予報士試験は、過去28年間で合格者が約1万1千名を超え11,626名に達しました。

なお、気象予報士試験は、過去28年間で合格者が約1万1千名を超え11,626名に達しました。

#### 【参考】

気象予報士試験でのコロナ対策について(センターHP 話題、2020年8・9月)

URL:[http://www.jmbasc.or.jp/jp/topics/2020/2008-09\\_1.pdf](http://www.jmbasc.or.jp/jp/topics/2020/2008-09_1.pdf)

## 3. 気象測器検定の受付数



図2 1995(平成7)～2021(令和3)年度末にかけての27年間にわたる4つの主要な配信サービスの延べ利用者数の推移。

図3 1994年(平成6)～2021(令和3)年度末にかけての28年間にわたる気象予報士試験の受験者数と合格者数の推移

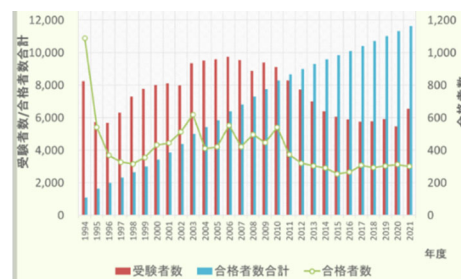




図4 2021 (令和3) 年度の受付数 11,888 件の8種類の気象測器別の受付数と割合 (%)。

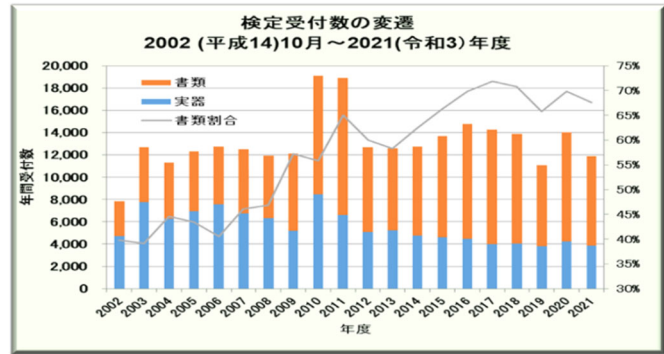


図5 2002(平成14)～2021(令和3)年度にかけての約20年間における気象測器検定の受付数(書類・実器)及び書類審査の割合(%)。

#### 【参考】

気象測器の検定実施状況について (センターHP「話題」) (センターHP 話題、2021年6・7月)

URL:[http://www.jmbc.or.jp/jp/topics/2021/2106-07\\_1.pdf](http://www.jmbc.or.jp/jp/topics/2021/2106-07_1.pdf)

(配信事業部・試験部・測器検定室)